

世界一安全な道路交通目指し

交通安全全国キャラバン隊・メッセージ伝達式
交通安全啓もう全国キャラバン隊が8月21日、本市を訪れ、高市早苗内閣府特命担当大臣からの交通安全メッセージ伝達式が、市交流センターで行われました。

伝達式には、市内交通安全関係団体から約150名が参加し、キャラバン隊長（県交通安全母の会佐藤靖子会長）が「世界一安全な道路交通を目指し地域住民と一体となった効果的な交通安全対策を積極的に推進するようお願いする」とメッセージを代読し、岸部市長に手渡しました。

また、市交通安全母の会会員による「ふるさと秋田交通安全音頭」が披露されるなど一行を激励しました。



約150人が参加して行なわれたメッセージ伝達式

自然に触れ楽しい思い出

まどびの里子ども自然村

夏休み・まどびの里子ども自然村が7月26日～31日（1期）、8月1日～7日（2期）の日程で市合川学童研修センターを拠点に開かれ、遠くは京都府や首都圏、地元の子もたちなど計67人の子もたちが参加しました。

子どもたちの活動は、期間中の食事を使う箸を自分で作ることから始まり、天然杉のさわやかな香りがする箸に、子どもたちは満足そうでした。その他、阿仁川での川遊び、自然観察、農家宿泊、森吉登山などを体験。

最終日前夜には、伝統行事「万灯火」を体験。参加した子どもたちの手作りの万灯火は、山々に炎の放列を浮かばせ、子どもたちは感動していました。



農家体験で収穫した野菜に満足そうな子どもたち



歓声をあげながら魚を追う子どもたち

美しい川を次世代に

「史上最大のつかみ取りパト9」
「史上最大のつかみ取りパト9」が8月19日、米代川河川公園内の「せせらぎ水路」で開かれ、親子連れなど約120人がイワナやヤマメ、ニジマスのつかみ取りに挑戦しました。

このイベントは、子どもたちに自然に親しんでもらうとともに、川の大切さを知ってもらうことなどを目的に開催されたもので今年で9回目。放流されたのは、イワナ、ヤマメ、ニジマス、アユ合わせて1600尾。

子どもたちは服をびしょ濡れしながら、岸辺や水路せき止め用のネットに魚を追い込み、ようやくつかみ取ると喜色満面でお父さんたちの持つバケツや袋に入れていました。



バスケットの部優勝の東トリオーズ（米内沢）

熱戦繰り広げ交流深める

学童野球・ミニバスケットボール大会

森吉地区校外生活指導協議会・北秋田市教育委員会主催の第49回地区対抗学童野球大会とミニバスケットボール大会が8月9・10日、森吉球場・森吉総合スポーツセンターで開催され、熱戦を繰り広げました。

野球の部は米内沢地区2、前田、浦田がそれぞれ1チームの4チーム。バスケットの部は米内沢2、前田2の計4チームが参加。

数年前まで多数参加していた地区も、少子化とともに減少し、幾分物足りなさを感じるものの、地区の中学生や親たちが指導にあたるなど、地域が密着し子ども達を支える姿は脈々と受け継がれ、歴史ある大会に親しみと地域の一体感が感じられます。

真夏の暑さを吹き飛ばせ!

「アマチュアバンドコンサート「夏バン!2007」
「真夏の夜の白熱ライブイベント」と題したアマチュアバンドコンサート「夏バン!2007」が8月18日、市文化会館で開かれ、約150人のロックファンらが地域の若者達による熱い演奏に引き込まれました。

出演したのは、主に市内で活動している8グループで、企画・運営は、参加グループの有志が行なっています。

各グループの演奏スタイルは、ヘヴィ・メタルからアコースティックな癒し系ポップスまで様々で、個性的な衣装で観衆を釘付けするバンドも。当日は、約5時間にわたり若者たちの熱い演奏が続けられ、手作り感にあふれたコンサートとなりました。



若者たちの熱い演奏がロックファンらを魅了

親子でコースター作りに挑戦

「自然と遊ぼう」お父さんといっしょ

仕事中心の生活を見直し心にゆとりのある充実した時間を過ごしてもらおうと、パワーアップ自主事業実行委員会が主催した「自然と遊ぼう!お父さんといっしょ」が8月18日と19日に阿仁農林漁業体験実習館で開催され、親子11組31人が参加しました。

お父さんたちは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の意見交換を、子どもたちは「ぶな森散策」をした後、親子が協力して、のこぎりを使って杉の丸太からコースター作りに挑戦しました。そのほかチェンソーアートの実演や星空観察、川遊びなど森吉山の自然とふれあいながら充実した時間を過ごしました。



互いに協力してコースター作りに挑戦する親子